

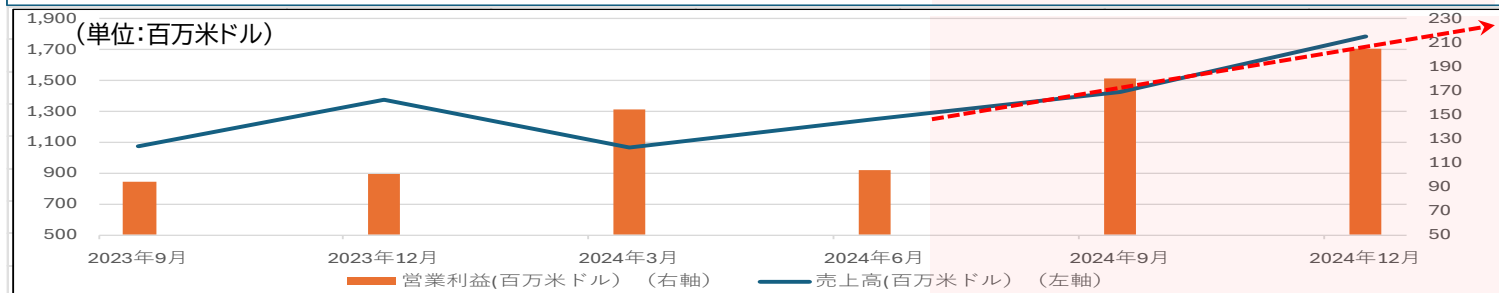
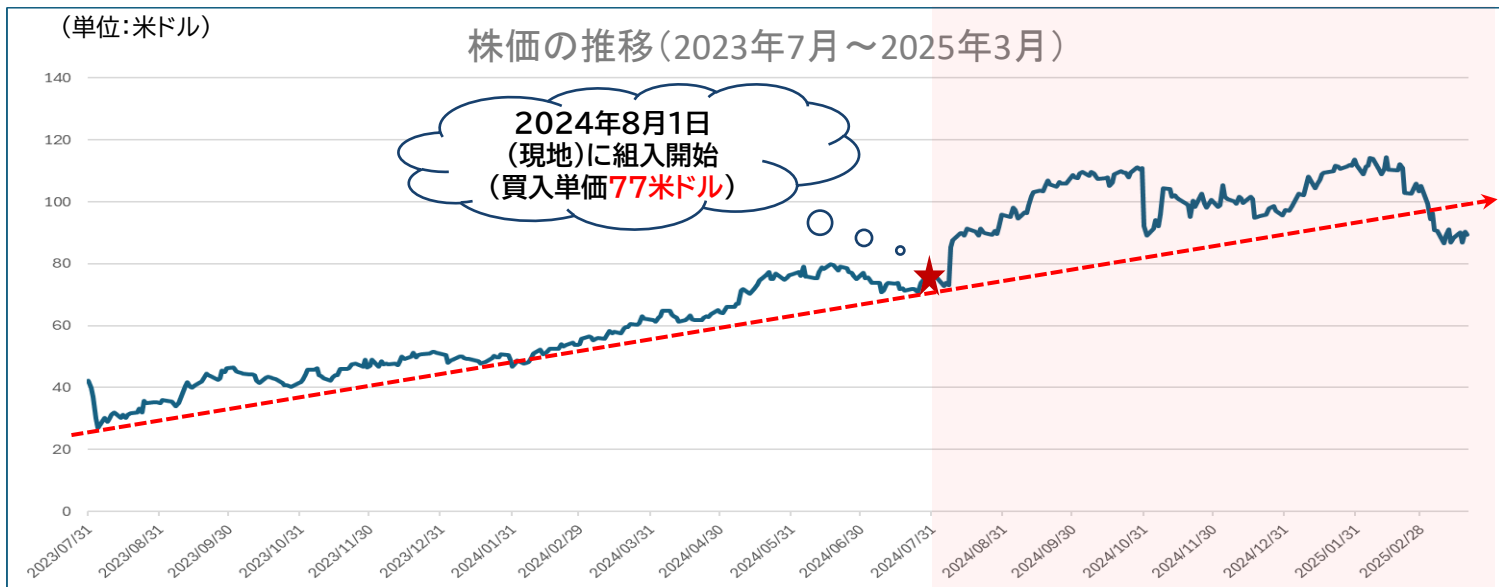


## 組入銘柄のご紹介(シャークニンジャ)

### はじめに

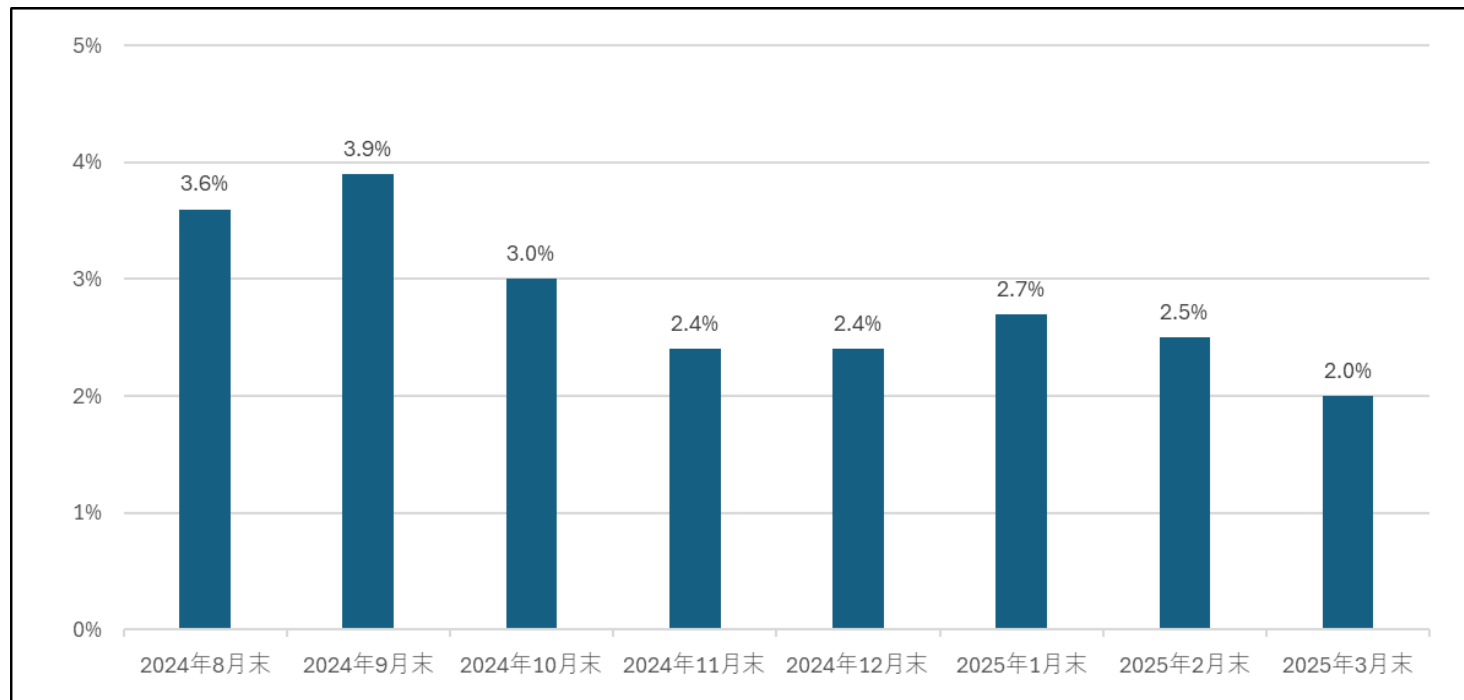
- ✓ 「WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型) (愛称:ネクスト・ジェネレーション)」(以下、当ファンド)では、強固な企業文化を持ち、競合他社に対してコスト競争力などの強みを築き上げることによって、長期的な追い風を受けると考えられる銘柄にフォーカスした集中投資ポートフォリオ(30～50銘柄程度)を構築し、長期的に優れたリターンを生み出すことを目指しています。
- ✓ 今回は当ファンドの組入銘柄の中で**シャークニンジャ社**(以下:同社)をご紹介します。当ファンドではテクノロジーなどの成長セクターのみならず、同社のようないわゆるローテク企業についても、持続的な成長が期待できるという強い確信を持つことが出来る企業については積極的に投資を行っており、その代表銘柄として今回ご紹介させて頂くものです。
- ✓ 当ファンドでは、2024年8月1日(現地)より同社株式の組入を開始しました。WCM社では同社がスピード感のある製品開発を通じて、新規並びに既存の製品カテゴリーにおいて量販店等での販売シェアを同業他社から奪っていくものと期待しています。足元の株価はやや軟調地合いが続いていますが、新カテゴリーの開拓や市場シェア拡大の可能性などが今後の株価支援材料となるとみています。

### ご参考:株価の推移と業績動向



	2023年9月	2023年12月	2024年3月	2024年6月	2024年9月	2024年12月
売上高(百万米ドル)	1,071	1,378	1,066	1,249	1,427	1,787
営業利益(百万米ドル)	94.5	100.8	154.9	103.8	180.3	205.1
純利益(百万米ドル)	18.7	49.3	109.6	68	132.3	128.7
EPS (米ドル)	0.13	0.35	0.78	0.48	0.94	0.91

## 組入比率の推移



※組入比率はマザーファンドの現物ポートフォリオに占める比率となります。

## シャークニンジャ社の概要

- ✓ シャークニンジャ社(以下:同社)は2017年に欧州で創業され、現在ではボストン近郊の米国マサチューセッツ州ニーダムに本社を置いています。その後2023年に株式公開され、家電を中心とした製品開発・販売を行い、世界中の消費者にさまざまなソリューションを提供しています。積極的な品揃えの拡充が評価されており、ダイソンからシェアを奪ったことから米国では「ダンキラー」とも称されています。
- ✓ 社名も特徴的ですが、同社によれば単に掃除機のブランド「シャーク(Shark)」と小型キッチン家電のブランド「ニンジャ(Ninja)」を組み合わせたものだそうです。それぞれ米国ではシェアNo.1を獲得していますが、「シャーク」は、初代の掃除機がサメの形に似ていたことに由来しています。また「ニンジャ」は、忍者の手さばきの素早さに着想を得たものであるようです。
- ✓ 同社はこれらのブランドで、従来の実店舗チャンネル、電子商取引チャンネル、販売代理店、および消費者直結チャンネルを通じて掃除機、ヘアドライヤー、ミキサー、グリルなど高品質の家庭電化製品の販売を行っています。具体的には
  - コード付きおよびコードレス掃除機、ハンディ掃除機、ロボット掃除機等の掃除用電化製品
  - スチームモップ、ウェット/ドライクリーニング用床製品やその他の床ケア製品
  - エアフライヤー、マルチクッカー、コーヒーシステム、ケトル、トースター等の調理・飲料用電化製品
  - フードプロセッサー、アイスクリームメーカー、ジューサー等の食品調理用電化製品
  - ヘアドライヤー、スタイラー等の美容電化製品
  - 空気清浄機、加湿器等の家庭環境製品
 が挙げられます。
- ✓ また同社は、市場シェアの獲得を目指すべく、販売量が見込まれる製品については積極的に研究開発費や販売・マーケティング費用の投入を行っていますが、そういった先行投資こそが競合他社との差別化を行う参入障壁となっていると考えられます。

## WCM社による投資判断について

- ✓ WCM社では、同社が複数のカテゴリおよび地域において高品質の製品をリリースし続けており、その勢いが減速の兆しを見せていない点に注目しています。同社が消費者目線でのイノベーションアプローチを強める中で、同社が展開する新規および既存のカテゴリにおける商品の市場シェアや小売店での棚スペースの拡大につながるものと期待しています。ひいては独自のイノベーションとや販売網の拡大を通じて、競合他社を打ち負かして、市場シェアを獲得し続けると信じています。
- ✓ また、WCM社では、比較的競争圧力が強くないとみられる業種に属するのにもかかわらず、同社が持つ特異ともいえるアグレッシブな企業文化に着目しています。同社の持つ迅速さや徹底した顧客目線に立ったアプローチによって、顧客の動向に敏感に対応し、絶え間なくイノベーションや製品開発を繰り返していることが同社の競争優位性を高めているものと判断しています。

## 今後の成長ドライバーについて

- ✓ 同社は今後の成長ドライバーとして①新たなカテゴリへの参入、②既存カテゴリにおける市場シェアの拡大、③国際展開を挙げています。それぞれについて概説すると

## ①新たなカテゴリへの参入

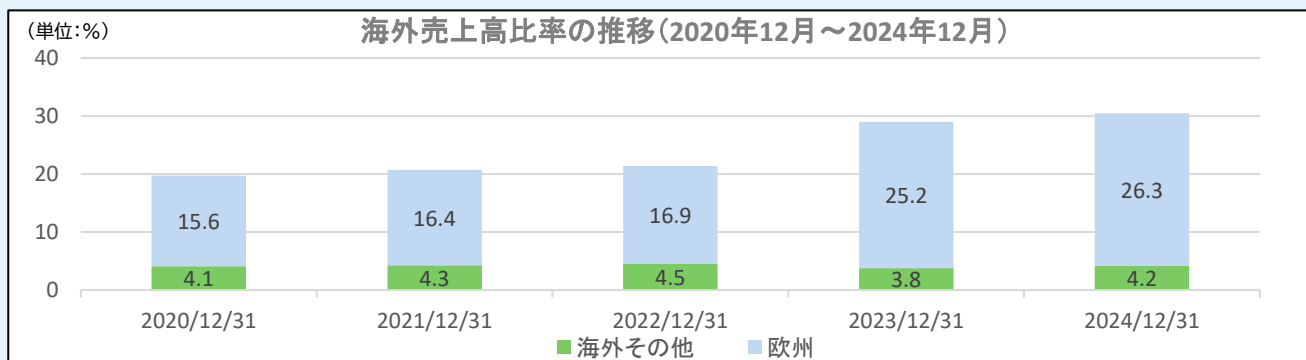
2024年にはクーラー、ファン、フローズンドリンクメーカー、スキンケアなどの製品を導入しました。現在同社が扱うサブカテゴリは30以上となっています。

## ②既存カテゴリにおける市場シェアの拡大

マーケティング強化に向け競合他社を上回る広告投資を行っており、かつ拡大しています。一例として、Instagramなどのプラットフォームを通じて有名なセレブやインフルエンサーと提携することによって更なる知名度の向上を目指しています。また既存カテゴリにおける新製品の投入に際し、機能や特徴を追加することによって顧客の製品アップグレードのニーズを促そうと考えています。

## ③海外展開

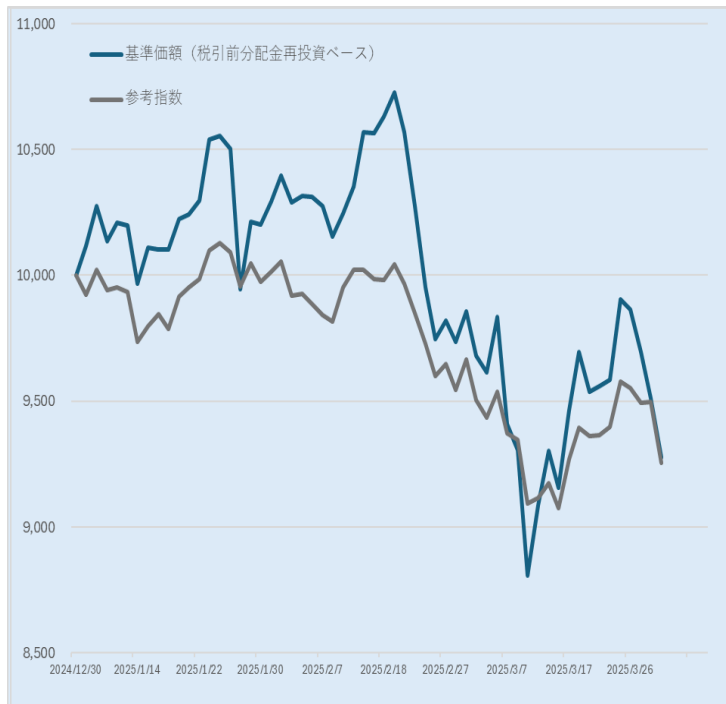
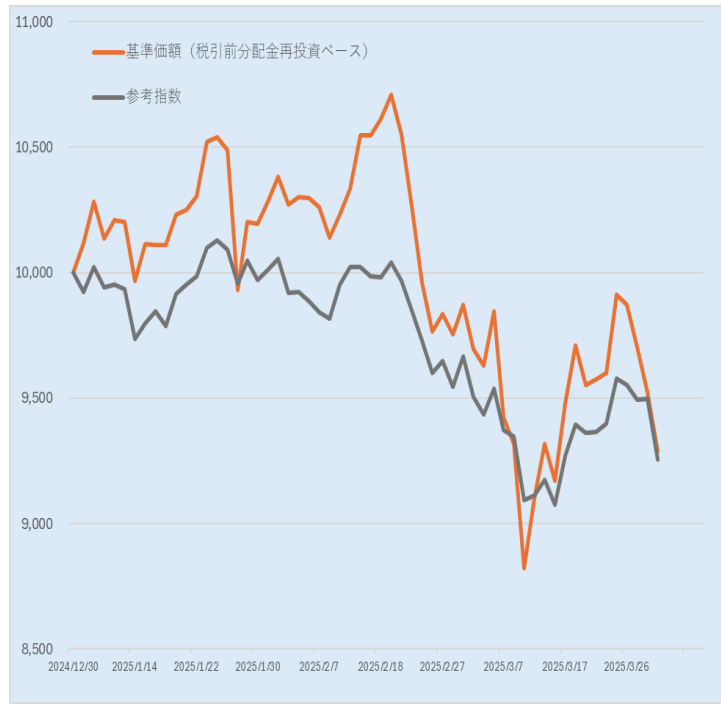
従前から海外売上には注力しており、2024年末現在では総売上高の約3割に達してきています。同社は今後数年にわたって海外での成長が国内の成長を上回ると予想しており、実際に特に英国を含む欧州での成長が著しい他、最近ではメキシコやブラジルなどラテンアメリカでの事業拡大がみられます。成長機会を多様化かつ最大化すべく、経営陣は今後とも日本を含む海外展開を強化していくとみられます。



- ✓ 以上のような成長戦略を通じ、WCM社では今後数年間にわたってカテゴリ、対象市場ともに拡大・成長の余地があるとみています。新カテゴリへの参入、既存製品のアップグレードや海外展開については更なる拡大の余地があるものと判断され、更なる売上の増加と利益率の拡大によって今後とも市場シェアを拡大していくことができると考えています。

## 当ファンドの運用実績

## ■過去3か月

WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)  
(2025年1月6日～2025年3月31日)WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)  
(2025年1月6日～2025年3月31日)

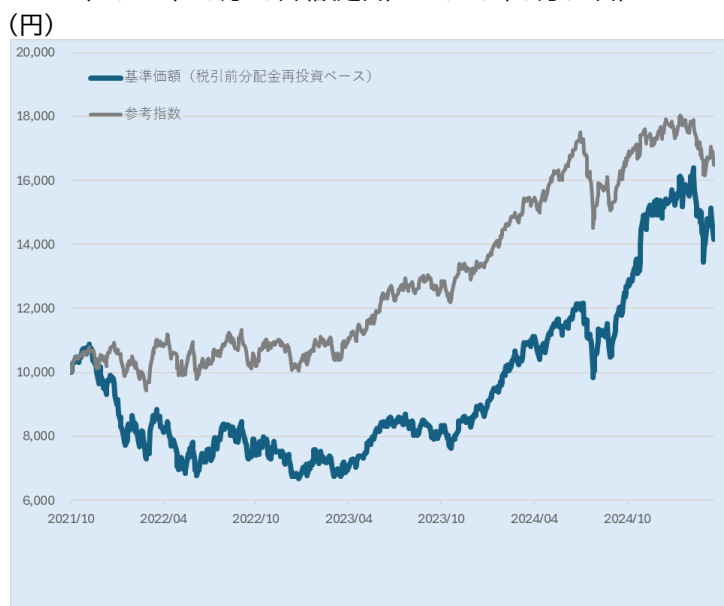
※12月30日現在の基準価額、参考指数をそれぞれ10,000として指数化しています。参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index（配当込み、米ドルベース）と当日TTM円/米ドルレートにより算出しています。

\*参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。

●基準価額（税引前分配金再投資ベース）は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したものと計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮しておりません。

●実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

## ■設定来

WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)  
(2021年10月13日(設定日)～2025年3月31日)WCM 世界成長株厳選ファンド(予想分配金提示型)  
(2021年10月13日(設定日)～2025年3月31日)

\*参考指数は1営業日前のMSCI All Country World Index（配当込み、米ドルベース）と当日TTM円/米ドルレートにより算出しています。但し、設定日の前営業日は当日のMSCIを使用しています。（設定日の前営業日を10,000として指数化）

\*参考指数は当ファンドのベンチマークではありませんが、参考までに掲載しています。

●基準価額（税引前分配金再投資ベース）は信託報酬控除後であり、税引前分配金を再投資したものと計算しています。換金時の費用、手数料等は考慮しておりません。

●実績数値は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

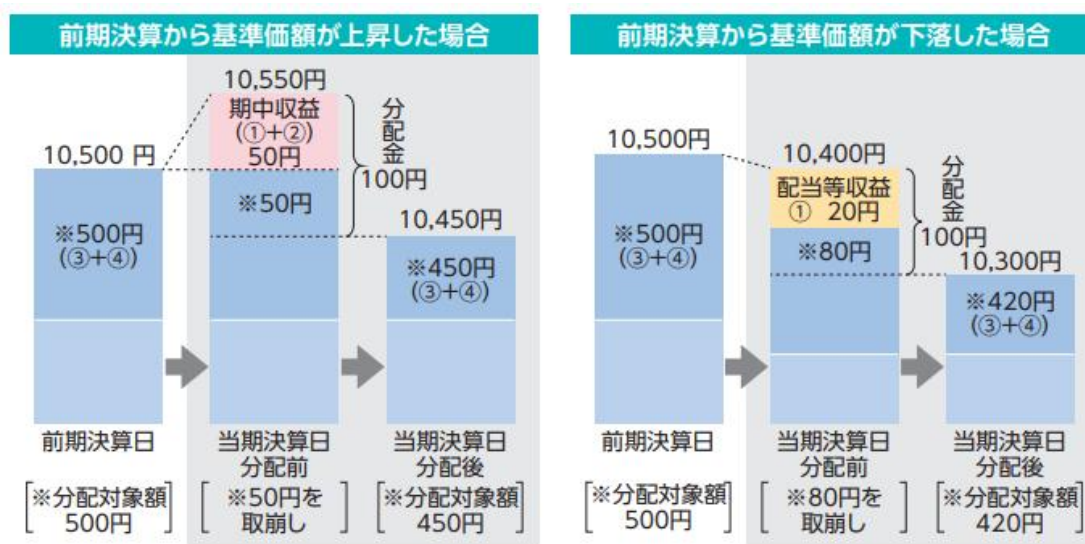
## 収益分配金に関する留意事項

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。



- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

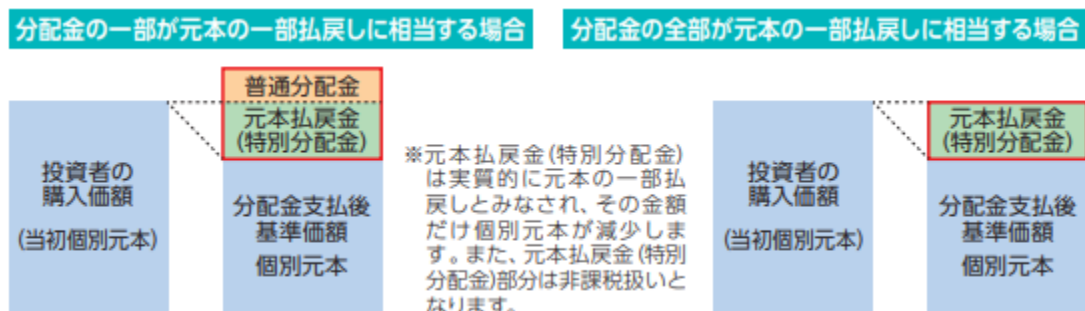
### 《計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合》



(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージ図であり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。



普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金：個別元本を下回る部分からの分配金です。

(特別分配金) 分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※ 普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)をご参照ください。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

## ファンドの目的

WCM セレクト グローバル グロース株式マザーファンド(以下、マザーファンド)への投資を通じて、世界各国の金融商品取引所に上場(上場予定および店頭登録予定を含みます。また、DR(預託証券)を含みます。)している株式に実質的に投資し、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。

\*原則として、日本企業への投資にあたっては、ADRを利用します。

## ファンドの特色

1. 日本を含む世界各国の株式に投資を行い、中長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。
2. 参入障壁の持続可能性、企業文化、構造的成長力、バリュエーションなどに基づき、ボトムアップ・アプローチ※を通じて銘柄を厳選のうえ、30～50銘柄程度に集中投資します。  
※ボトムアップ・アプローチとは、投資対象となる個別企業の調査、分析に基づく投資判断をもとに銘柄選択を行い、その積み上げによりポートフォリオを構築する運用手法です。
3. 株式等の運用指図に関する権限をWCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー(WCM社)へ委託します。
4. 実質組入外貨建資産については、原則として、対円で為替ヘッジを行いません。
5. (資産成長型)と(予想分配金提示型)の2つのファンドからご選択いただけます。

各ファンド間でのスイッチングが可能です。販売会社によっては、スイッチングの取扱いを行わない場合があります。スイッチングを行う場合の申込手数料は、販売会社が定めています。またスイッチングにより解約をする場合は、解約金の利益に対して税金がかかります。詳しくは販売会社にご確認ください。

### 分配方針

#### (資産成長型)

年1回(2月25日。休業日の場合は翌営業日)決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わないこともあります。

収益分配金額の決定にあたっては、複利効果による信託財産の成長を目指すため、原則として分配を極力抑制する方針とします。(基準価額水準、市況動向等によっては変更する場合があります。)

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

#### (予想分配金提示型)

毎月25日(休業日の場合は翌営業日)に決算を行い、収益分配方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 原則として、各計算期末の前営業日の基準価額の水準に応じて、以下の金額の分配を目指します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。また、決算日にかけて基準価額が急激に変動し、下記分配金額としないことや分配を行わないことがあります。

各計算期末の前営業日の基準価額	分配金額(1万口当たり、税引前)
11,000円未満	基準価額の水準等を勘案した分配金額
11,000円以上 12,000円未満	200円
12,000円以上 13,000円未満	300円
13,000円以上 14,000円未満	400円
14,000円以上	500円

※基準価額が上記の一定の水準に一度でも到達すればその水準に応じた分配を続ける、というものではありません。  
※分配により基準価額は下落します。そのため、基準価額に影響を与え、次期以降の分配金額は変動する場合があります。

- 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

## 投資リスク

- ◆ ファンドは値動きのある有価証券等を投資対象としますので、組入有価証券等の値動きなどの影響により、基準価額が下落することがあります。したがって、投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、これを割り込むことがあります。ファンドは預貯金と異なります。
- ◆ 信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。

### 《基準価額の変動要因》

株価変動リスク、為替変動リスク、信用リスク、カントリーリスク、流動性リスク など

### 《その他の留意点》

ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

※ 詳しくは、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

# WCM 世界成長株厳選ファンド(資産成長型)/(予想分配金提示型)

(愛称:ネクスト・ジェネレーション)

情報提供資料  
2025年4月

## お申込みメモ

購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
換金単位	販売会社が定める単位 ※販売会社へお問い合わせください。
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して5営業日目から支払います。
申込締切時間	原則として、午後3時30分までに販売会社所定の事務手続きが完了したものを当日の申込受付分とします。なお、販売会社によっては対応が異なる場合がありますので、詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
換金制限	信託財産の資金管理を円滑に行うため、大口の換金申込みを制限する場合があります。
購入・換金申込不可日	ニューヨーク証券取引所が休日場の場合は、購入・換金のお申込みができません。
購入・換金申込受付の中止及び取消し	金融商品取引所における取引の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受け付けを中止すること、およびすでに受け付けた購入・換金申込みの受け付けを取り消すことがあります。
信託期間	無期限(2021年10月13日設定)
繰上償還	受益権の口数が10億口を下回ることとなった場合、受益者のため有利であると認めるときまたはやむを得ない事情が発生したときなどには、繰上償還されることがあります。
決算日	(資産成長型) 毎年2月25日(休業日の場合は翌営業日) (予想分配金提示型) 毎月25日(休業日の場合は翌営業日)
収益分配	(資産成長型) 年1回決算を行い、分配方針に基づいて分配金額を決定します。 (予想分配金提示型) 毎月決算を行い、分配方針に基づいて分配を行います。 ※分配を行わない場合もあります。 ※収益分配金をそのつど受け取るコースと自動的に再投資するコースがあります。自動的に再投資するコースを選択された場合の収益分配金は、税金が差し引かれた後、決算日の基準価額で再投資されます。
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。 公募株式投資信託は税法上、一定の要件を満たした場合にNISA(少額投資非課税制度)の適用対象となります。(資産成長型)は、NISAの「成長投資枠(特定非課税管理勘定)」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。(予想分配金提示型)は、NISAの対象ではありません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。配当控除および益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

### ◆ 投資者が直接的に負担する費用

- ・購入時手数料：購入価額に**3.3% (税抜3.0%)**を上限として販売会社が個別に定める率を乗じて得た額  
※ 詳しくは販売会社へお問い合わせください。
- ・信託財産留保額：ありません

### ◆ 投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- ・運用管理費用(信託報酬)：ファンドの日々の純資産総額に**年1.958% (税抜1.78%)**の率を乗じて得た額  
※ (資産成長型)は毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期間末または信託終了のとき、(予想分配金提示型)は毎計算期間末または信託終了のときファンドから支払われます。  
※ 委託会社の報酬には、運用委託先への報酬が含まれています。
- ・その他の費用・手数料：以下の費用などがファンドから支払われます。これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することができません。
  - ファンドの監査費用(ファンドの日々の純資産総額に年0.011%(税抜0.01%)の率を乗じて得た額。ただし年44万円(税抜40万円)を上限とします。)
  - 有価証券売買時の売買委託手数料
  - 先物・オプション取引等に要する費用
  - 資産を外国で保管する場合の費用

※ファンドの費用(手数料等)の合計額については、投資者がファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

## 販売会社一覧 (2025年3月末現在)

販売会社名	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社SBI証券	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
極東証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第65号	○			○
東洋証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号	○			○
松井証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第164号	○		○	
松阪証券株式会社	金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第19号	○			
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	○
三菱UFJ eスマート証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	○
楽天証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○
リテラ・クレア証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第199号	○			
株式会社イオン銀行 (委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第633号	○			
株式会社SBI新生銀行 (委託金融商品取引業者：株式会社SBI証券) (委託金融商品取引業者：マネックス証券株式会社)	登録金融機関 関東財務局長(登金)第10号	○		○	

■本資料は、朝日ライフ アセットマネジメント(以下、当社といいます)が情報提供用に作成したものであり、法令に基づく開示資料ではありません。■当ファンドは価格変動リスクや流動性リスク等を伴う証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には為替リスクもあります。)ので、市場環境等によって基準価額は変動します。したがって投資元本は保証されているものではありません。運用による損益はすべて投資家のみなさまに帰属します。■本資料は当社が信頼できると判断した情報を元に、十分な注意を払い作成しておりますが、当社はその正確性や完全性をお約束するものではありません。■本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を示唆あるいは保証するものではありません。■本資料に記載されている内容は、今後予告なしに変更することがあります。■ファンドの取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので、必ず内容についてご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。■当ファンドは、金融機関の預金または保険契約ではありませんので、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入いただいた場合は、投資者保護基金による支払いの対象にはなりません。

### ■ 設定・運用

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
商号等 / 朝日ライフ アセットマネジメント株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 301号  
加入協会 / 一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

### ■ 外貨建資産の運用

**WCM** Investment Management  
WCMインベストメント・マネジメント・エルエルシー

お申込みに当たっては、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

当ファンドの取扱い販売会社は販売会社一覧をご覧ください。